

## 経営理念

我が社は、限りある大地の最有効利用を  
広範囲に創造し、実践して社会に貢献する。

## 大東建託グループパーパス

# 「託すをつなぎ、未来をひらく。」

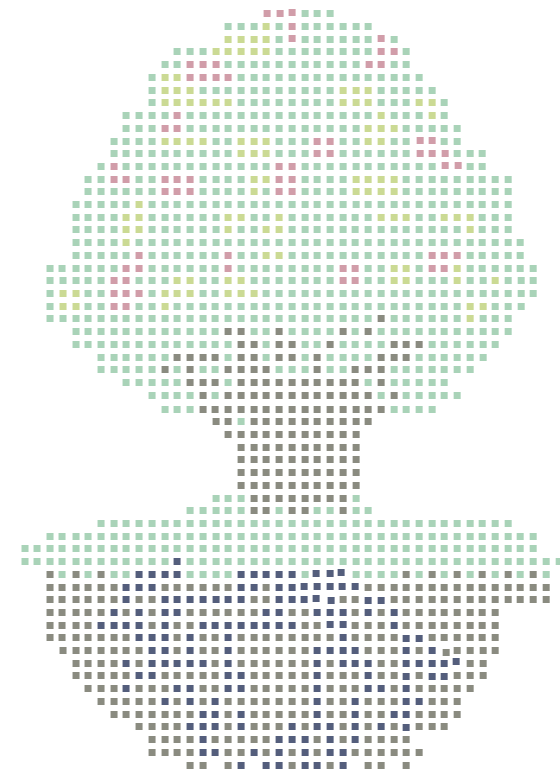
当社グループはこれまでオーナー様や入居者様の人生に寄り添い、想いを託され、その託された想いを実現しようと、従業員が一丸となり取り組んできました。そして、これからも、その想いを次の世代、未来へとつないでいくこと、それが、当社グループの存在価値であると考え「パーパス」を策定しました。

## サステナビリティ基本方針

大東建託グループは、豊かな暮らしを支える企業として、  
社会の変化を成長の機会と捉え、  
ステークホルダーのみなさまと共に、事業活動の発展と  
持続可能な社会の実現を目指します。

## Contents

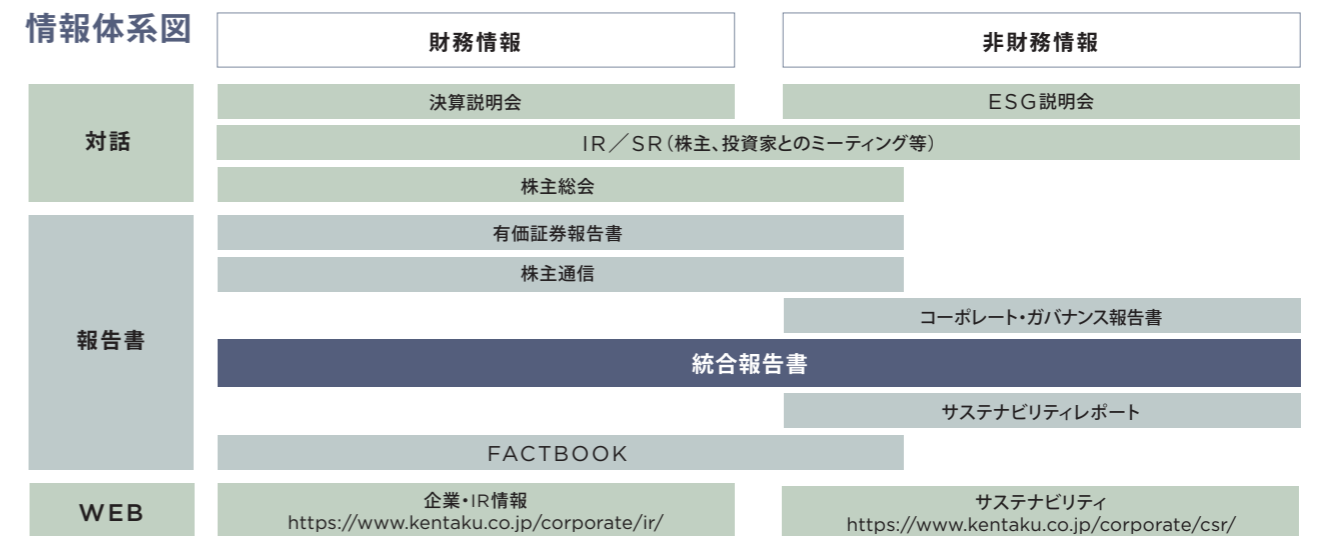
大東建託グループパーパス・2030年のありたい姿	3
Top Message	5
役員からのメッセージ	13
At a glance (競争優位性・提供価値・獲得価値)	19
信頼と成長の軌跡	21
価値創造サイクルと価値創造プロセス	23
環境・社会課題/ビジネスモデル/経営資源・競争優位性	25
経営資源・競争優位性/提供価値・獲得価値	27
リスク・機会の分析と今後の対応	29
サステナビリティを主軸とした経営へ	31
マテリアリティ達成に向けたサステナビリティ推進体制	33
気候変動(TCFDに沿った情報開示)	35
生物多様性/汚染防止・廃棄物削減/水資源	38
サプライチェーン・マネジメント	39
人権	40
人的資本経営	41
ダイバーシティ&インクルージョン	43
財務戦略	47
新5カ年計画の進捗とその先を見据えて	49
事業別戦略(建設事業)	51
事業別戦略(不動産事業)	53
事業別戦略(その他事業+金融事業)	55
コーポレート・ガバナンス	57
財務ハイライト	67
連結財務諸表	69
会社情報	73



## 統合報告書について

- 発行の目的**  
大東建託グループの財務・非財務情報から、企業価値の向上に直結する特に重要な情報を集約・説明することで、株主様・投資家様を中心としたステークホルダーのみなさまに当社グループの理解を深めていただく。
- 対象読者**  
株主様・投資家様を中心としたステークホルダーのみなさま
- 各種指標**  
特に記載のない限り、「期間」で捉えられる数値は2022年度（2022年4月～2023年3月末）、その他は2023年3月末時点の数値
- 対象期間**  
2022年度（2022年4月～2023年3月末）※一部取り組みについては、2023年8月まで含む
- 発行時期**  
2023年9月
- 将来の見通しに関する注意事項**  
本報告書に記載されている業績見通しをはじめとした将来に関する記載は、本報告書の発行日現在における将来見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

## 情報体系図



# 大東建託グループパーパス・2030年のありたい姿

## パーパス

託すをつなぎ、未来をひらく。

## ステートメント

あらゆる人々が、安心できる「暮らし」を求めている。

だからこそ私たちは、お客様から託された大切な土地に  
安心安全で、快適な賃貸住宅を建設し、提供することに邁進してきた。  
これからも、お客様からのあらゆる想いを実現するために、  
グループの連携により「暮らし」そのものを支えられるよう、挑戦し続けていく。

しかし、「暮らし」とは、時代と共に急激に変化する。

だからこそ、私たちは現状で満足はしない、してはいけない。  
常に挑戦者であるために。

賃貸住宅事業を中心に、  
循環型社会への取り組みに、災害に強い住まいに、地方創生に、  
他業種との共生と共創を通じて、領域を大幅に広げていく。

次世代へと自信を持って託せる「暮らし」のために、挑戦をやめることはない。

人々から託された想いを、積み重ねてきた経験を、  
社員一人ひとりが、託し託されることで、世界中の「困った」を「安心」に変える。  
そして、人と人、人と建物、人と街を、一貫したサービスの提供により  
優しく丁寧につなぎ合わせていく。

世界中の人々が心の底から安心できる、新しい「暮らし」の未来を届けるために。



2030  
ありたい姿

### 葉

まちの活性化・  
地方創生

3つの取り組み

枝 生活インフラ・暮らしサービス拡充

幹 建設・不動産領域の拡大

根 パーパスに基づく考動

「新5ヵ年計画」  
2019-2023

2023  
現在

次期中期  
経営計画 ※策定中  
2024～

